

あなたにそして自分にも

どんまいどんまい



税務調査を受けて、 社内業務の改善すべき事 が浮き彫りになる！

税務調査は
忘れた頃に
やって来ま
すね。



新年早々の税務調査に正月もゆっくりした気分になれなかった武田英昭です。

去年の12月中頃に当社が決算申告をお願いしている会計事務所さんから1月に税務調査の予定が入った事の連絡を頂きました。

11年ぶりの事でしたが、過去の税務調査の時の厳しい指導を頂いた事を思い出して、又何か予想もつかない事態になるのではないかと不安な気持ちで一杯でした。

会計事務所の担当の方から税務調査の前に過去5年分の全ての資料を準備しておく様に連絡が入りました。

当社の一年分の資料となると、掛け売りのお客様の納品書や請求書の他に、ネットショップの売り上げの資料やカード決済や代引き決済やコンビニ決済の資料等、売上だけでも多岐に渡り、その分の仕入先の資料や入金や支払いの資料等、一年分

だけでもダンボール箱で31箱ありました。

その5年分となるとダンボール箱の山になってしまうので、何とか3年分だけにしてもらいたいとお願いしました。

3年分だけでも1階の資料置場から2階の会議室に移動するのに社員総出でやってもらいました。

なんとか2階の会議室に移動出来ましたが、会計事務所さんから税務調査の対応を速やかに行えるように、いろんな調査対象の可能性あるチェックシートを頂きましたので、その資料を探すのにまた一苦労しました。

なんとか税務調査を受ける準備が出来ましたが、毎年出席しているお客様の新年会は日程が近いので、全て欠席させて頂く事にしました。

準備万端で更に今回は会計事務所の所長さんと担当者2人と3人で立ち会ってくれるそうなので、とても心強く思っていました。

11年前の税務調査の時は、知人の紹介でお願いしていた税理士さんが県外だった為、私1人で対応していました。

県外だった為、税理士さんに立ち会ってもらう事もなく、何の準備もなくただ調査を受けていたので、調査が長引き4か月もかかった事を思い出します。

前回の税務調査の後に当時の税理士さんから、法人成りした時は規模も小さく、経理を自社でやるように電話で指導しながらやれたので、県外でも対応出来たが、会社の規模が大きくなり、とても県外では難しくなったので、地元の会計事務所さんに切り替えるように言われました。

それからは、今の会計事務所さんをお願いして決算申告の他に給料計算や個人の確定申告もお願いするようになりました。

それからすっかり税務調査の事は忘れていました。

「どんまい どんまい」

他の月の「どんまい どんまい」を見逃した方は金物ショップタケダのサイトからぜひ御覧下さい。

失敗した時、がっかりした時、つらい思いをした時、落ち込まず再チャレンジ出来る様にとの思いで、あなたと私の心のかけ橋レターを送ります。

毎月1回発行 発行編集責任者 武田英昭 (株)タケダ 山形県山形市あかねヶ丘 3-18-1 電話:023-644-5633 FAX:023-644-5663

金物ショップタケダ: <http://www.ks-takeda.biz/>

税務調査の当日になり、約束の時間通りに税務調査官が来社されました。

私は、いよいよ来る時が来たと「まな板の鯉」になった気持ちで2階の会議室に行きました。

なるべく自分から余計な話しはしないで、税務調査官の質問だけに答えるように気を付けました。

**過去の調査では、いろいろほめ言葉を頂いて、
ついつい私から聞かれていない事も得意げに話していました。**

その私の話から逆に質問されて調査されていった事を思い出していました。

今回は必要とされる資料も全部準備していたし、会計事務所の先生方も傍におられるので、わりと冷静な気持ちでいられました。

そして、私への質問が始まりました。

私は、質問された事だけに、簡潔に答えました。その後は、資料を調べるので私は席をはずして仕事してかまいませんと言われました。

後は会計事務所の先生方にお任せして、私は仕事に戻りました。

そして、調査一日目の夕方になり、もう一度私にいろいろ聞きたい事があるとの事で、2階の会議室に呼ばれました。

まず、一つ目は当社で海外に輸出している事について、どのように注文を受けてどのように出荷しているのか聞かれました。

私は担当者に任せっきりで、海外からの入金確認後に注文品の手配や出荷をするように指導しただけで、実際の輸出の書類の書き方等は、去年退社した担当者がなんとかやっていたようですと返事しました。

そしたら、輸出許可書が見当たらないのですが、どこにありますか。と聞かれました。

私は実際に海外からの入金口座に入っている事がわかればいいんじゃないか位に思っていま

したが、**海外への輸出の場合は、消費税が免税になっているので、申告書もその分の消費税を差し引きしているとの事でした。**

輸出許可書が無いと、税務上は輸出したと認められず、免税になっている消費税を払ってもらわなければならないとの事でした。

当社で輸出した全ての輸出許可書が無かったので、今更どうすればいいんだろうと思いました。

そうしたら、会計事務所の担当の方が、いろいろ調べてくれて過去3年間はさかのぼって輸出許可書を発行してもらえることがわかりました。

ただ、その依頼する為の輸出番号が必要で、その番号を調べるのに過去のメールの履歴等いろいろな手段でその番号を調べてもらい、再発行してもらえることが出来ました。

私だけの対応では、その場でギブアップしていたと思います。

その他にも決算月の5月の仕入と売上の確認で、お客様から来切の依頼を受けて5月の仕入なのに6月に売上計上した金額が全て売上計上漏れという事になりました。

当社はお客様のご依頼を受けて6月に計上しただけで意図的でない事を強く訴えました。

その他にも指摘された事があり、良く短時間でこれだけの事を調べられるものだと感心するばかりでした。

次の日も来社されて調査が有りましたが、今回は当社での調査は予定の2日間だけで、後は会計事務所さんとやりとりされるとの事でした。

後は会計事務所さんにお任せするだけです。

私の税務調査官との直接の対応は2日間だけで済んだので、ほっとしています。

調査結果はまだですが、当社の改善すべき事がわかったので、今後活かして行きたいと思っています。

武田英昭

“どんまい どんま〜い”を読んでいかがだったでしょうか。「あなた」の感想をお聞かせ下さい。

電話 023-644-5633 FAX 023-644-5663 武田英昭までお願いします。

㈱テラ陶板浴タケダのホームページが出来ました。料金改定してフリーパスもスタートします。

㈱テラ陶板浴タケダ <http://tera-takeda.com> こちらも見て下さい。

